

未来班の成果と課題

探究の成果

地域の川や池の水質や砂、生物の棲息状況を明らかにするとともに、地域の環境を改善するために自分たちでできることについて考察した。

現地調査では、例年調べている場所を今年度も調べ、生物の種類や個体数についての変化を調べた。普段あまり目にしないサワガニや絶滅危惧種のスナヤツメなどの生物を捕獲し実際に触れながら探究することができ、生徒にとって貴重な経験となった。また、要注意外来生物であるクレソンの活用方法についても考察や実験をし、新しい視点での調査を行った。

探究成果はうつしの祭で発信し、環境保全の大切さを分かりやすく伝えることができた。

福祉面では、これからの時代に必要不可欠な介護についての基本的な知識や、車椅子・義手義足について調べ、発表することができた。

生徒の反省から

①良かった点	②改善点
<u>1 現地調査について工夫したこと</u> ・3つのテーマに分かれて調査することで、調べるべきことをきちんと調べられた。 ・現地調査では計画的に生物を発見し、記録することができた。 ・気温や水温の確認を正確にできた。 <u>2 まとめ方で工夫したこと</u> ・クレソン料理の写真を見せて説明を分かりやすくした。 ・現地調査へ行った場所を地図で説明できた。 ・水質を去年の調査と今年の調査を一覧で比較できた。 <u>3 発表で工夫したこと</u> ・スライドと説明のタイミングが合うように練習できた。 ・劇やダンスとPPとの時間配分のバランスがよかった。 ・マイクをうまく使えていた。	<u>1 現地調査について来年度の課題</u> ・見つけられた生物が少なかったので、現地調査の場所を再考する。 ・現地調査でのルールを確立し、より安全に活動できるようにする。 ・クレソン以外の在来・外来生物を調査する。 <u>2 まとめ方で改善したいこと</u> ・スライドの表示時間を長くする。 ・スライドの内容を精選する。 ・写真を活用したり、専門用語を分かりやすく説明したりする。 <u>3 発表で工夫したいこと</u> ・声のトーンを上げ、聞き取りやすい発表を心掛ける。 ・メリハリをつけ、はっきりと話す。 ・十分な練習を積み、すらすらと言葉を言えるようにする。